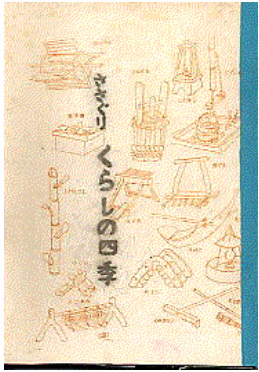
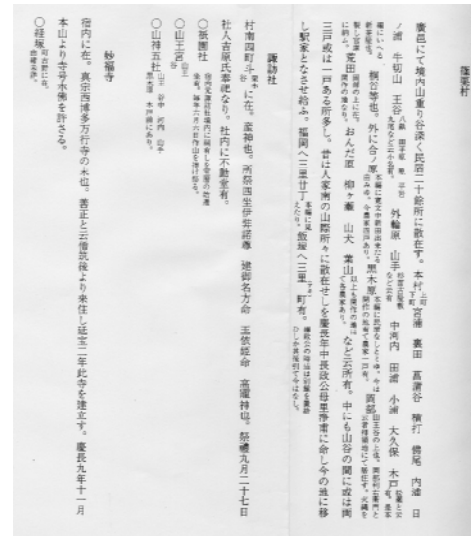


PDF表記ですから、このページ右上の
(虫眼鏡の+)のマークで**拡大してご覧頂けます。**

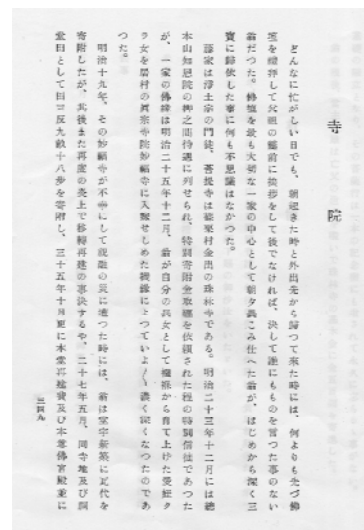
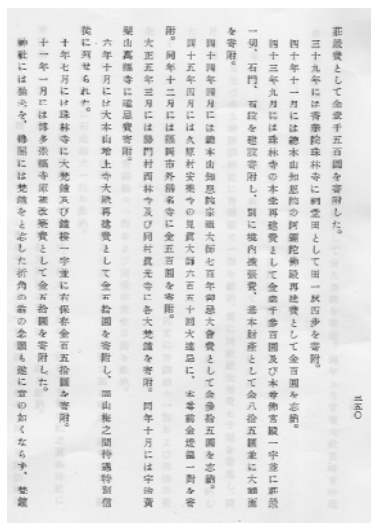


西 義助先生が「ここに、明治・大正期における篠栗のくらしの種々相を誌し留めて、古き先人の時代を偲び、温故知新、古き礎の上に営まれる「今日の意義を考えるよすがとなればとら念じてやまない」とまえがきされ出版された『ききぐり くらしの四季』に「宗教」の章があります。そこには篠栗町の神社仏閣について記されています。

青柳 種信著『筑前国続風土記拾遺』
福岡古文書を読む会校訂本87巻
には篠栗について記載されている。



妙福寺から少し下がった所に「藤 金作寿像と社会事業基金の碑」があります。
その御生涯を記された書籍「藤 金作翁」があります。
そこから妙福寺にかかわったところを出しました。



妙福寺の境内に何処から来ているのかわからない鉄パイプ(今ではボロボロの状態です)があり、雨の後には水がしばらく流れてきます。小さい時から、昔は小学校プールが妙福寺の道向かいにありましたが「この水は篠栗小学校のプールの水に使われとった」と聞いてきましたがその由来がこの書籍を読んで初めてわかったことでした。

諏訪神社水道碑

大正十五年十月我篠栗町ハ氏神諏訪神社ヲ此處ニ移轉シ此處ノ遺蹟其骸ヲ奉リ燒空門
 調神城跡親到大地ヲ成セリ唯此ムラクハ水利ノ便ニシテ先シテ此處ニ寺ニ置キ更ニ落下シテ
 子會テ水運ヲ踏査シ南山崎谷ノ集水ヲ得タルヲ以テ之ヲ水路ニ導キ更ニ落下シテ
 水トナシ灌テニシテ社境ニ進シ用水ノ便始メテ門ヲ閉シテ此處ニ置キ更ニ落下シテ
 主ノ協賛アリ運ニ土木功成ルヲ見ルニ於テ乎以後祭典參拜ノ用水完備シ又ハ一分水
 シテ大日山新田園圃邦所ニ送リ會キ餘水ヲ附近學校並ニ住民ノ需用ニ供スルコトヲ
 得タリ是レ獨リ山水ノ景勝ヲ稱讚スルノミナラニ利用厚生ニ補益スル所亦少ナラザ
 ルヘシ茲ニ水道ノ由来ヲ記スト云爾

昭和三年十一月

彫金作八十五歳撰書